

平成31年度 学校の部活動に係る活動方針

学校名 岩手県立水沢商業高等学校

校長名 千葉 尚

1 活動の方針

部活動は、学校教育活動の一環として、自発的・自主的にスポーツや文化的活動を行うものであり、より高い水準の技能や記録に挑戦する中で、楽しさや喜びを味わい、学校生活に豊かさをもたらす効果を期待している。さらに、部活動は、生徒の人間形成を支援するものであることはもとより、さらには学校の一体感の醸成にもつながるものと考えている。

このような効果を十分に上げるためには、生徒の心身の健康に配慮するとともに、教職員等による指導体制や指導方法の工夫・改善に取り組みながら、持続可能な活動を目指す。

2 休養日・活動時間について

成長期にある生徒が、休養や睡眠のバランスのとれた望ましい生活リズムで、自主的な学習時間を確保できるよう部活動計画を作成する。

(1) 週1日以上休養日を徹底しながら、年間平均で週当たり2日以上休養日の設定に努める。

(2) 1日の活動時間は、学校の特色及び種目等を考慮し、適切に設定する。

3 活動のきまり

(1) 生徒が、多様な活動に参加できるよう、ある程度長期間の休養期間（オフシーズン）を設ける。

(2) 部活動休養日に大会参加等で活動した場合は、他の日に振り替える。

(3) 学校の休業日に大会等で活動時間を上回った場合、他の活動時間を調整する。

(4) 参加する大会等の教育上の意義などを精査し、生徒や部顧問の負担が過度にならないよう対応する。

(5) 各部の活動内容を把握しながら、必要に応じて指導・是正を行うなど、活動方針の徹底を図る。

4 その他

高校におけるスポーツ・文化活動に対する役割はいまだに大きいものがあるが、今後の社会情勢の変化に対応すべく、この活動方針は、常に見直しを図ることとする。